

Monthly Report

硬式野球部 辻本倫太郎 (体育4年) 中日ドラゴンズからドラフト3位指名



10月26日(木)、本学硬式野球部主将の辻本倫太郎選手(体育学科4年ー北海道・北海高校出身)が2023プロ野球ドラフト会議で中日ドラゴンズよりドラフト3位指名を受けました。野手の支配下指名としては、本学初の快挙となります。

これで、本学から8人目のプロ野球選手が誕生いたしました。

<硬式野球部主将 辻本倫太郎選手のコメント>

本学史上初となる野手での支配下としての指名を目指していました。中日ドラゴンズから3位指名を受けることができ、本当に嬉しいです。

1年目から戦力となれるよう頑張りたいと思いますし、将来的には、ゴールデングラブ賞を受賞できるような選手になりたいと考えています。

そのためにも、1日でも早くチームに馴染み、常にチームにとって必要とされる選手でありたいと思っています。

<目次>

・辻本倫太郎(体育4年) 中日ドラゴンズからドラフト3位指名/硬式野球部	1
・27年ぶりのリーグ戦連覇&インカレ出場権獲得/男子・女子ハンドボール部 ・全日本学生体重別選手権大会 女子70kg級の井上七海と52kg級の中島幸穂が3位入賞/柔道部	2
・17年連続!東北地区大学サッカーリーグ優勝!!インカレ出場権を獲得/男子サッカー部 ・東北大学バスケットボールリーグ優勝!!/男子バスケットボール部 ・鹿島建設との共同研究調査	3
・スポーツコーチング実習(バスケットボール)/仙台89ERSとのアカデミックパートナーシップ協定 ・女子漕艇部が宮城県庁を表敬訪問/漕艇部	4
・田村高校生を対象に出前授業を実施 ・雨天中止となったクリケット交流大会2023の参加記念品を参加予定の全児童にプレゼント ・体も心もスッキリ!ヨガ体験授業	5
・仙台市立中田中学校(生徒・保護者)で出前授業を実施 ・「ロッセ愛で、仙台の歴史を振り返る」仙台大学川平キャンパス公開講座(後期日程)スタート! ・10月7日(土)本学を会場に「2023東北こども博」を開催!!	6
・「高校スポーツの安全を守る」Vol.66	7

学生の活躍や、取り組みなどをご存知でしたら広報課までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供して参ります。

本誌へのご意見・ご質問等がありましたら広報課までご一報ください。

仙台大学 広報課

直通 0224 - 55 - 1802

Email kouhou@sendai-u.ac.jp

27年ぶりのリーグ戦連覇&インカレ出場権獲得／男子・女子ハンドボール部

9月16日（土）から10月1日（日）までの期間、宮城県（仙台大学第二体育館ほか）で開催された東北学生ハンドボール秋季リーグ戦において、男子ハンドボール部が春季リーグに続いて連覇を果たしました。リーグ戦連覇は平成8年以来27年ぶりとなります。女子部ハンドボール部は3位で9大会連続のインカレ出場権を獲得しました。



男子部のリーグ戦前のチームの調子はイマイチでしたが、ここ一番の勝負所では高い集中力を発揮しました。途中、東北福祉大学戦では、前半リードの展開から後半逆転され、敗戦を覚悟しましたが、粘り強く引き分けに持ち込んだことが、今年のチームの強さを象徴していました。

優勝決定戦となった最終日の富士大学戦は、試合当初から高い集中力を発揮し、少しずつ点差を離し、後半は相手にリードを許すことなく、余裕を持った勝利となりました。

今大会の結果、男子・女子ハンドボール部は、11月に北海道函館市で開催される全日本インカレへの出場権を獲得しました。男子部はベスト8、女子部はベスト16を目指し精進します。引き続き男子・女子ハンドボール部へのご声援よろしくお願いします。

<男子・女子ハンドボール部>

全日本学生体重別選手権大会 女子70kg級の井上七海と52kg級の中島幸穂が3位入賞／柔道部

柔道の3大インカレのひとつ、全日本学生柔道体重別選手権大会が9月30日（土）、10月1日（日）に日本武道館で開催されました。

本大会は男女7階級の体重別で行われる個人戦であり、全国9地区の予選を勝ち上がった代表によって杯を争う大会です。本学からは男子12名、女子17名が東北地区代表として出場しました。

その中で、70kg級（30名）に出場した井上七海（現代武道1年）は粘りのある試合内容で3試合を勝ち抜き、全日本ジュニアに続く3位入賞を果たしました。

52kg級（33名）に出場した中島幸穂（現代武道3年）は、昨年度3位の第2シードの貫禄を見せつけ3試合を一本勝ちという内容で準決勝戦に進出しました。本学にとっても久しぶりの決勝選出が期待されましたが、相手の粘りに苦戦を強いられ、延長戦の末に敗退、こちらは悔しい3位の結果となりました。その他に52kg級の荒川菜々香（現代武道学科4年）と後藤未結（現代武道学科1年）、63kg級の吉田日和（現代武道学科2年）、78kg級の小野寺美優（健康福祉学科4年）の4名がベスト8でした。



また、男子では、81kg級（52名）に出場した村井凌河（現代武道2年）が、逆転勝ちを含む3試合を延長戦で勝ち抜き、実に15年ぶりのベスト8進出という結果を残しました。 <柔道部>

17年連続！東北地区大学サッカーリーグ優勝！！インカレ出場権を獲得／男子サッカー部

東北地区大学サッカーリーグ(1部)で、2試合を残して仙台大学サッカー部が17年連続となるリーグ優勝を勝ち取りました。

すでに本学からは5名の来期Jリーグ入りが発表されており、「2023 JFA・Jリーグ特別指定選手」として活動するなど、主力選手が不在となるが多かったものの、代わりに出場した1～2年生の若手選手が活躍し、順調に勝ち星を積み上げてきました。

この結果により、第72回全日本大学サッカー選手権大会(インカレ)への出場権も獲得し、インカレへの出場は22大会連続39回目となります。<男子サッカー部>



東北大学バスケットボールリーグ優勝！！／男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、東北大学リーグで見事優勝し、2年連続の栄冠を勝ち取りました。この優勝により、仙台大学は東北ブロック1位通過を果たし、第75回全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)に出場する権利を獲得しました。

インカレは、12月2日(土)から東京都の大田区総合体育館等で開催され、12月16日(土)もしくは12月17日(日)に決勝戦が行われます。<男子バスケットボール部>



鹿島建設との共同研究調査

9月19日(火)、大和町にある仙台小林製薬医薬品工場新築工事現場にて、鹿島建設㈱の建設現場作業従事者を対象とした調査研究調査(実態調査)を行いました。これは、仙台大学と鹿島建設とが共同で行う研究の一環として実施されたものであり、今年度は「建設作業現場に従事する労働者の体組成・骨密度と運動習慣との関係」をテーマに、運動習慣のアンケート調査を実施したほか、体組成(Inbody)・骨密度を測定しました。



ご協力頂いた方々は、自分の筋肉や骨密度がどのようなものか興味津々な様子で、鹿島建設㈱東北支店の協力のもと、終始、和やかな雰囲気で行われました。同様の調査は、9月21日(木)・22日(金)にも仙台市青葉区の仙台厚生病院新築工事現場の作業技能者に対しても実施されました。

スポーツコーチング実習（バスケットボール）／仙台89ERSとのアカデミックパートナーシップ協定

本学体育学科コーチングコース3年生の必修であるスポーツコーチング実習（バスケットボール）で、アカデミックパートナーシップを締結している仙台89ERSにご協力いただきました。

事前（7月4日）に見学を実施し、学内で指導計画の作成、シミュレーションを通して準備をして実践に臨みました。

当日はU15ユースチームに指導を行うことで、これまでの講義等で身につけた基礎的な知識をもとに計画、シミュレーションしてきたことと実践の違いなど体験することができる貴重な機会となりました。



両日ともに、U15上田康德HCを中心にコーチングのポイントを短時間ながら講義いただいたり、佐藤濯アカデミー部長や上田HCから直接、実践後に個別フィードバックをいただいたり、学生にとって学外実習ならではの非常に有意義な時間となりました。

またお忙しい中、佐藤部長と上田HCには、本学で9月21日（木）に実施した学生のプレゼンテーションに、ご厚意でご参加いただきました。普段接することの少ないプロコーチから直接指導いただいたことで、学生はたくさんの刺激を受けることができました。

女子漕艇部が宮城県庁を表敬訪問／漕艇部

10月5日（木）本学女子漕艇部員2名が高橋仁学長、久保佳子・岡田遼太両コーチと共に宮城県庁を表敬訪問し、伊藤哲也副知事に9月6日（水）～10日（日）まで埼玉県戸田市で開催された「第50回全日本大学ローイング選手権」での女子総合優勝を報告しました。



副主将の森田美海選手は「創部21年から3回目の女子総合優勝を果たすことができたのは、高橋学長、部長、監督、コーチ、卒業生、家族、柴田町の川交会の皆さまの支えのおかげです。コロナ禍であっても目標を持ち続け、今自分たちにできることを、チームワークを大事にしながら諦めずに頑張ってきた結果、最後に有終の美を飾ることができたと思います。」と述べました。

伊藤副知事からは「コロナ禍で大変な時期に部活動と学業を両立させ、高橋学長をはじめ大学一丸となり栄光を勝ち取られた皆さんを県としても誇りに思います。今回の優勝経験を後輩の皆さんに引き継いでいただきたいと思います。」とお言葉をいただきました。 <漕艇部>

田村高校生を対象に出前授業を実施

9月20日（水）、田村高校（田村郡三春町）にて、スポーツ科1学年、体育科2学年、体育科3学年の計107名の生徒さんを対象とした出前授業を実施しました。当日は、スポーツ栄養学科の早川公康先生、体育学科スポーツトレーナー・コースの白坂牧人先生及びスポーツマネジメント・コースの弓田恵里香先が講義を担当しました。

どの講義についても、真剣な中にも生徒さんたちの笑顔がはじける様子が窺えました。本学では、田村高校の体育科・スポーツ科での出前授業は今回が初めてということもあり、教員の皆さんにとっても、いつも以上に熱のこもった授業となったようです。

雨天中止となったクリケット交流大会2023の参加記念品を参加予定の全児童にプレゼント

第1回となる「クリケット交流大会2023」は、主催・仙台大学、後援・亶理町、協賛・日本クリケット協会、10月9日（月）「スポーツの日」に実施する予定でしたが、あいにくの雨で中止となりました。

参加を楽しみにしていた児童の皆さんに、当日参加記念品として準備していた帽子を含めて写真にあるようなグッズを全員にプレゼントすることとし、亶理町及び柴田町の4つの小学校を訪問しました。

写真は、亶理町のクリケット推進モデル小学校に選定された長瀬小学校の児童の皆さんに校長室でプレゼントをお渡しした時のものです。

クリケットは2028年のロスアンゼルスオリンピックの正式種目となり今後注目されていくことと思います。

体も心もスッキリ！ヨガ体験授業

健康福祉学科では、10月5日（木）、「ヨガ体験授業」を行いました。これは「健康支援・介護予防演習（2年生科目）」の一部として実施しており、今回で8年目です。

後期が始まり慌ただしい時期でしたが、健康福祉学科卒業生の中村孝子講師（インド中央政府公認ヨガインストラクター）の指導で約1時間、呼吸に合わせて体を伸ばし心身を整えることができました。学生の感想からは、「思ったよりきつかったが、楽しくできた」「とても体が温まった。疲労回復できた」「体もほぐれたが、心も整理された気がした」「言葉や声量、音楽にも気遣いがあり、とてもリラックスできた。明日からもがんばれそう」、「自分の体のどこが固いかや腹式呼吸がわかった。今後 も続けたい」などがありました。

ヨガは初めてという学生が多い一方で、高校の部活で経験したという学生もいて、スポーツとヨガの関係の広まりも感じました。



仙台市立中田中学校（生徒・保護者）で出前授業を実施

10月25日（水）、仙台市立中田中学校にて、生徒・保護者を対象とした出前授業を実施しました。今回のテーマは、「災害時の栄養補給とパック・クッキング講習」。スポーツ栄養学科の久保 佳子講師が担当し、実習室及び教室の各々の生徒・保護者に対し、対面・オンライン同時進行での実施となりました。

講習に参加した生徒さんからは、「日常の生活にも取り入れたい」などの感想が寄せられるとともに、突然襲ってくる災害に対する備えについて、考えるきっかけになったようです。

「ロッテ愛で、仙台の歴史を振り返る」仙台大学川平キャンパス公開講座（後期日程）スタート！

仙台大学川平キャンパス公開講座（後期日程）が10月21日（土）にスタートしました。

第1回講座は、「仙台とロッテ もうひとつのプロ野球と街の歴史」と題して健康福祉学科の氏家靖浩教授が担当。「ロッテ愛」を自認する氏家教授は、ワイシャツに「千葉ロッテマリーンズ 平沢（大河）13」のユニフォームを着こみ、お決まりの自己紹介、本学の授業の宣伝を足早に済ますと、会場内は、昭和を振り返りながらロッテ球団と仙台との関わりを知る楽しい場になりました。

氏家教授の詳細な調査により、ロッテ球団にまつわる逸話を次々と披露し、受講生の関心を一気に引き込んでいくと、昭和49年10月の日本シリーズで日本一になった後の、「なぜ、仙台で優勝パレードをしなかったか（出来なかったか）」で、会場内は最高潮に達しました。

本講座では、初めから終わりまで、氏家教授の「ロッテ愛」が炸裂し、終了時には受講生から盛大な拍手を受け、楽しい講座が終わりました。

10月7日（土）本学を会場に「2023東北こども博」を開催！！

このイベントは東日本大震災に対する復興の一環として2011年10月から「子供も大人も、全ての人々に笑顔をもたらすようなイベントを創り上げること」を合言葉に開催し、今年で11回目（2019年は台風の影響で中止、2021年は新型コロナの影響で中止）を迎えます。

コロナ禍では制限しながらの開催でしたが、今年度は従来通りの人数制限もない状況で5,368人のご来場をいただきました。

各施設では工作やニュースポーツ、リズムダンス、レクリエーション等の様々な体験コーナーや仙南&富谷市&本学マーチングバンド部による合同演奏会を実施し、多くの来場者が笑顔で楽しみました。

来場者からは「触れたことがない、スポーツも楽しむことができ、学生の皆さんも優しい方ばかりで、とても楽しい時間が過ごせました。また来年も来たい」、「親子遊びと働く車の子ども免許証制作・警察車両乗車が楽しかった」、「コロナ禍で、お祭りなどに行けてなかったのでこのようなイベントに参加できて楽しかった」など、多くの感想を頂きました。



「高校スポーツの安全を守る」 Vol. 66

担当：白坂 広子

「鹿島建設との共同研究において川平KMCHで測定のプレテストを行いました」



仙台大学と鹿島建設の共同研究について、川平ATとS&Cは研究チームメンバーとしてサポートしています。建設業において技能労働者の高年齢化、そして躓き・転倒などの労働災害の増加が課題であり、体力の維持と生活習慣の改善が労働者に求められている中で、現状把握と改善提案を行い災害抑制につなげるということが研究のテーマです。去る8月25日、川平KMCHのPラボで高崎健康福祉学科長補佐と堀江健康福祉学科長のご指導のもと、インボディと骨密度、そして生活習慣に関するアンケート調査のプレテストを行いました。

当日は鹿島建設東北支店から約10名の関係者の方々がご来校しました。健康福祉学科のスタッフの方々に手際よく会場設営をして頂き、先生方には研究の説明と川平ATとS&Cの担当部分の説明をして頂き、川平ATとS&Cは測定後の結果の解説を担当することになりました。この共同研究の本測定は9月に3回に分けてすでに行われており、約200名の労働者が測定を終えています。今後もこの共同研究において健康福祉学科の先生方やスタッフの方々を継続してサポートさせていただく予定です。

～仙台大学教職員の共通理解事項～

仙台大学の「建学の精神」、「基本理念」、「使命・目的」

建学の精神

「実学と創意工夫」

仙台大学の経営母体である学校法人朴沢学園(明治12年開設)の学園創始者は、建学の精神として「実学と創意工夫」を掲げ、「創意工夫と先見性をもって実学を志し、実学に根ざした人格形成と人材育成を図る」ことをもって先進的な女子教育を行い、寺子屋方式に代え一斉教授法を導入し明治時代の裁縫教育に一大革新をもたらした。

その考え方は、体育系単科大学として昭和42年に開学した本学にも受け継がれ、人格形成の要素である体育・徳育・知育のうち「体育」に教育・研究の重点を置きつつ、実学と創意工夫に根差した広い教育研究領域を探求することに継承されてきた。なお、建学の精神の意図するところについては、開学時の第1回入学式・初代学長告辞にも「社会で充分活動できるための智識と技能を鍛えた心身ともに健康である人間をつくることであり、仙台大学は、企業等における健康管理・健康指導の企画・実施担当者の育成、各種の運動機構等における実技指導者、ならびに学校体育の指導者を養成することを目的としております」と端的かつ明確に示されている。

基本理念

「スポーツ・フォア・オール」

仙台大学は、昭和42年、単一学部・単一学科で開学した。その後、平成7年度以降、順次学科を増設し、現在では6学科構成としている。また、学科増設に加え平成10年度には大学院スポーツ科学研究科(修士課程)も新設している。こうした教育研究領域の拡大に伴い建学の精神を基盤に据えつつ、大学の新たな基本理念として定めたのが「スポーツ・フォア・オール」である。

「スポーツ・フォア・オール」とは文字通り「スポーツは健康な人のためだけでなく、すべての人に」を、すなわち「乳幼児から元気なお年寄りはもちろん、寝たきりのお年寄りまで。そして、性別や障がいの有無を問わず、トップアスリート、生活の中での楽しみや健康の励みとしてスポーツをする人、スポーツをみる人が好きな人、スポーツをささえる人などすべての人を対象としてスポーツを科学的に探究すること」を意味している。

使命・目的

基本理念を踏まえた仙台大学の使命・目的は、仙台大学学則第2条および仙台大学大学院学則第2条にそれぞれ示している。

■仙台大学学則 第2条

本学は、体育・スポーツ、健康福祉、スポーツ栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する諸科学を教授研究し、当該分野における指導者としての専門的知識と技能を体得させるとともに、高い識見と広い視野とをもって、社会の指導的な役割を果し得る有能な人材を育成することを目的とする。

■仙台大学大学院学則 第2条

本大学院は、広い視野に立って、体育・スポーツ、健康福祉、スポーツ栄養、スポーツ情報マスメディア、現代武道及び子ども運動教育に関する学術の理論と応用を教授研究し、当該分野における高度の専門的な職業等を担うための卓越した能力を培い、もって体育・スポーツ及び健康分野の発展に寄与する有為な人材を育成することにより、広く社会に貢献することを教育研究上の目的とする。

その他 (リンクを貼っていますので、項目をクリックして閲覧ください)

■人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的(仙台大学学則別表第一)

■3つのポリシー ①学部 ②大学院

③体育学科 ④健康福祉学科 ⑤スポーツ栄養学科

⑥スポーツ情報マスメディア学科 ⑦現代武道学科 ⑧子ども運動教育学科

■朴沢学園中期経営計画

■事業計画